



創生会
おおさきのぶじ
大崎 延次



市役所本庁舎の改善点について

議員 来庁者が車を置くスペースが無く困っておられます。市役所の建物前の、石壁や階段を壊して、駐車場スペースを広げてはどうでしょうか。20台くらいは止められると思いますが。

市長 庁舎前は現状が狭あいであることから、石段等を撤去したとしても、大幅な駐車台数の増加は見込めないと考えますが、ご提案の趣旨を踏まえ検討してまいります。



尾道市役所前

市民の生命を守る施策について

議員 「木造住宅耐震改修費補助事業」のメニューに「耐震ベッド」「耐震テーブル」を加えて、近隣市町の協力を得ながら広島県の

ブランド商品に育てていただきたいと思いますが、お考えをお聞かせ下さい。

市長 耐震ベッドについては、現在補助制度の検討をしているところです。また、耐震テーブルについては、安全性や国の補助制度を含め、今後研究してまいりたいと考えています。なお、ご所論の商品のブランド化については、関係団体へ耐震化に関わる周知、啓発を行う中で情報を提供してまいります。

金銭教育について

議員 私たちの国の通貨「円」が世界で信用されているのは、先人たちのおかげです。子どもたちにも、お金を大切に、貯金の習慣を身につけてもらいたいと思いますがいかがでしょうか。

教育長 幼少期から、お金や物を大切に扱う心を養うことは大事なことでありと捉えています。学校においては、例えば、小学校の家庭科では、家庭で扱う金銭は家族が働く事によって得られる限りある大切なものであり、それが自分と家族の生活を支えていることから、購入する時期や金額、購入のための貯蓄など、無駄のない計画的な使い方を考えていくことを指導しています。今後も機会を捉えて指導を充実させ、お金や物を大切にすることを育ててまいります。



平成会
かきもと かずひこ
柿本 和彦



野犬ゼロのまちづくりについて

議員 野犬が減らない原因、また、NPO団体と動物愛護センターとが連携・協働した活動はどのようなものですか。

市長 飼い主による飼育放棄や不妊・去勢の未実施、無責任な餌やり行為が原因だと考えています。そして、NPO団体では、保護した野犬のうち、病気や怪我などで助かる見込みがない犬を除き、全頭を引き取り、新たな飼い主を探す活動を行っていると考えています。

地域による子どもの学習支援について

議員 地域による学習支援に期待することやメリット、また、いわゆる「10歳の壁」を乗り越えるために地域が行えることはありますか。

市長 深い人間関係や信頼関係が築かれ、大人になってからも地域で自立して生活していくことにつながると考えています。そして、日常の中で支援が継続できるメリットが

あると考える。

また、10歳の頃は、挫折や劣等感を感じてしまうことがあると言われていたと思いますが、そのような時期に、親や学校の先生以外の大人と触れ合うことは、多様な価値観に触れ、自信を持ったりと、新たな楽しみを見つける機会が広がったりすると考えられますので、地域における子どもたちの居場所づくりを進めていただくことを期待します。

社会教育部門の市長部局への移管について

議員 全国の事例や市長部局へ移管する際の弊害や課題を、どのように考えていますか。

教育長 全国で社会教育部門が教育委員会のみで設置されている自治体は、1,510市町村、市長部局のみに設置されている自治体は、56市町村、両方に設置されている自治体は175市町村になっています。

社会教育部門の事務の一部については、市長部局へ事務委任又は補助執行が可能です。社会教育は学校教育と密接な関係にあり、教育委員会が社会教育施策を執行することで、より効果が上がると考えています。今後、市長部局と連携を図りながら、研究してまいりたいと思います。



新和会
ほしの みつお
星野 光男

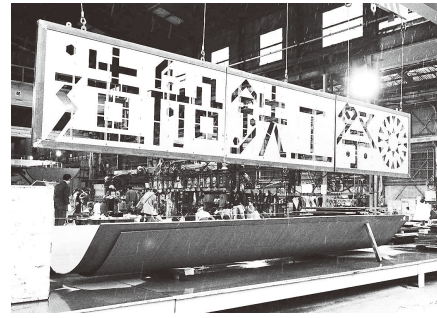


海事都市の推進について

議員 今年度3月の市内の高等学校卒業予定者のうち、造船関連企業への就職状況、及び市内外国人技能実習生のうち造船関連企業で働く人数は何人程ですか。また、地域連携によるインターンシップにどのように取り組まれていますか。

市長 卒業予定者1,030人のうち、就職希望者数は、本年10月末現在、200人で、そのうち、市内の造船関連企業への就職内定者につきましては、19人となっています。市内外国人技能実習生のうち造船関連企業における人数は、主な造船所13社に聞き取りした結果では、約160人です。小規模の協力会社等も多数あることから、全体の実数は把握できておりませんが、さらに多くの外国人技能実習生が雇用されていると思われれます。インターンシップ等実施ガイダンスでは、人材の確保に関しまして、次代を担う子どもたちを対象に海事学習会の開催、また造船鉄工祭への支援などを通じて造船産業のイメージアップを図るとともに、企業合

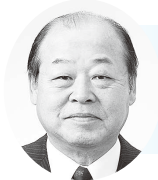
同説明会や高校生対象の事業所説明会を開催しています。



子育てと介護が同時期に進行するダブルケアについて

議員 本市のダブルケアに該当する人数を把握していますか。また、保育所や介護施設の入所判定時のダブルケア加算や相談窓口の設置について見解はいかがですか。

市長 本市におけるダブルケアに該当する人数は約240人と推定されます。保育所入所や特別養護老人ホーム等の施設入所の判定においては、考慮、加算がされる仕組みとなっています。相談窓口は「子育て世代包括支援センターばかばか」や、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」などで、子育てや介護などの知識がある専門員が、関係機関と連携しながら相談に対応するよう取り組んでいます。



尾道未来クラブ
いしもり けいし
石森 啓司



地球温暖化が叫ばれている今日、小中学校にエアコン設置を

議員 地球温暖化が叫ばれている今、子ども達の学校生活環境はいかに過酷な状態であるか、私たち大人はしっかり認識してはなりません。それを認識したうえで、小中学校へ通わせている保護者は、各教室にエアコンが設置されることを希望しておりますが、教育委員会ではエアコン設置をするつもりはありませんか。

教育長 教育委員会としては、本年7月と9月に実施した小中学校の普通教室の温度によると、子どもたちの教育環境は厳しい状況となっており、健康面や学習効率を考えると空調設備の整備は急務と考えています。このため、すべての小中学校の普通教室と特別支援学級、音楽教室に空調設備を設置できるよう、平成31年8月末の完了を目指して計画しているところです。

観光バスをより多く誘致するには千光寺登山道路の拡張・整備をするべき

議員 時代とともに観光バスも大型化し、もはやあの幅員の千光寺登山道は難しくなり、運転手や旅行業者は尾道に来るのをためらっております。千光寺登山道の拡張をする考えはありませんか。

市長 平成9年度から取り組んできており、近年のバスの大型化を考慮した部分拡幅を、平成30年度、31年度の2年間で実施する予定です。また、千光寺登山線の景観については、立ち木や道路脇に不法投棄されている廃棄物について、解決に向け関係者と取り組んでいます。

地域住民が安全安心な生活をするための要望に応える土木事業予算の増額を

議員 地域住民の安全安心は生活環境を守ることという観点から、土木予算の増額をする考えはありませんか。関わる業者が少ないことも伺っておりますが、要望書を出された住民は、いつになったらできるのか不安でたまりません。少なくともいつ頃から取り組むという目安を通知することはできませんか。

市長 地域の要望については、現地調査を行った後に、整備の方針についてお伝えしています。今後も引き続き、安全安心な生活環境のための整備を行っていくため、さらに有利な財源獲得に努めるとともに、要望を出された方へ丁寧な説明をまいります。



公明党
あらかわ きょうこ
荒川 京子



障がい児福祉について

議員 発達障がいを早期発見、早期療育が可能になりましたが、希望者が多く施設に入所できない療育待ちの待機乳幼児の現状の把握、今後の対応はいかがですか。

市長 療育待機乳幼児については、地域自立支援協議会の児童部会において問題共有するとともに、市として今後どのような対応が可能か検討します。

議員 発達障がい児の増加により、就学後の放課後や長期休暇中に療育を受けられる施設不足が問題ですが、放課後等デイサービス需要に対して供給の状況はいかがですか。

市長 放課後等デイサービスが十分に提供されている状況ではないと判断しており、関係事業所とも課題を共有しながら取り組みます。

議員 災害時の乳幼児の避難用に、避難車という一般的に乳母車といったもので、公園などへ散歩用に乳幼児を乗せて移動手段として使用しているものですが、療育施設に早急に避難車を整備していただけますか。



市民連合
やまと しげはる
山戸 重治



尾道の港を初めて海外に紹介した「老松堂日本行録」について

議員 室町時代に朝鮮回礼使として将軍・足利義持に謁見するために派遣された宋希璟（そんひぎょん）は、その途中で尾道に滞在しました。宋希璟が著した「老松堂日本行録（ろうしょうどうにほんこうろく）」で、尾道の港が初めて海外に紹介されたことを顕彰し、開港 850 年の記念事業として、その詩碑を設置してはどうですか。

市長 「老松堂日本行録」は、室町時代の日本と韓国の交流を記録するものであり、当時繁栄した尾道のまちの様子と文化を伝えるものと認識しており、ご提案のモニュメントの設置は貴重な意見として受け止め、尾道とのかかわりをさらに研究したいと思います。

イノシシによる被害について

議員 近年、イノシシが住宅地に出没し人身事故も発生しています。その状況や捕獲頭数と今後の対策についてお聞きかせください。

市長 避難車は、避難時に有効に活用しており、整備について検討していきます。

骨髄ドナー支援について

議員 骨髄移植ドナーが、検査や入院などで勤務先を休業した場合の補償はありません。本市において、ドナー個人、勤務先への休業補償などの助成制度をお考えですか。

市長 広島県で助成制度導入の市町はありませんが、本市では、助成制度の導入を検討しているところです。

教育行政について

議員 教員の働き方改革の中で、部活指導者、IT指導者、英語インストラクター、事務補助員などの非常勤外部人材の配置を検討していますか。

教育長 教務事務支援員やALTの増員、外国語活動のアシスタントの新規配置を検討しています。

議員 子どもの学力向上改善の一つに環境整備は必須で、エアコン設置をお願いしたいのですが、何年までに設置完了予定で、何台のエアコンを、どの教室に設置かお伺いします。

教育長 普通教室に322台、特別支援学級に97台、音楽教室に34台、計453台、平成31年8月末設置完了を目指す計画です。

市長 3年で8件の救急搬送を含む人身事故の報告があり、車両との接触、農作業や散歩中に襲われての負傷となっています。捕獲頭数は平成26年度1,317頭、28年度は1,508頭です。市民の安全を守るために、警察や町内会などと市街地出没時における合同パトロール等の協力体制を協議し、有害鳥獣被害の防止対策を市民の方に考えていただけるよう、地域に出向いた講座などを検討します。

待機児童の状況について

議員 本年4月1日と年度途中の待機児童の状況、また待機児童が出る要因についてお聞きかせください。

市長 4月1日の待機児童はゼロで、10月1日時点の待機児童数は19人です。0歳児の途中入所希望が多く、臨時保育士の確保が追いつかない状況です。

議員 公立保育所等では、年度当初に正規保育士の不足で90人近い臨時保育士を採用していますが、「年度当初は正規保育士で対応し、年度途中で増える子どもを臨時保育士で対応すること」が本来のあり方ではないですか。

少子化対策担当参事 毎年入所希望数は変動するので、それに合わせた正規職員の採用は現実的ではありませんが、ご指摘のようにできる限り正規職員を配置することが基本と考えます。



日本共産党
おかの ながとし
岡野 長寿



子どもを大切にする教育について

議員 学力向上のためには、教師が子どもたち一人ひとりに行き届いた指導ができる体制が必要です。小学3年生以降も市が独自に35人学級を実施すべきではありませんか。

教育長 35人を超える学級でも、教師の指導が行き届いていないとは考えていません。

議員 温暖化の影響で夏場の学習環境が悪化しています。学力向上のため、教室にエアコンを設置すべきではありませんか。

教育長 エアコンは全教室につけます。平成31年8月の設置完了をめざします。

議員 利用率が低い中学校のデリバリー給食を改善すべきではありませんか。

教育長 汁物など温かい給食に改善します。全員喫食にするかどうかは検討します。

市民を大切にする行政について（国保制度の改善）

議員 国民健康保険料は社会保障制度なのに、所得に対する保険料負担割合が9.9%

と高く、滞納者が増えています。（中小企業の従業員加入の協会けんぽは7.6%、大企業の従業員加入の組合健保は5.7%）滞納すれば短期保険証が発行され、切り替えには現金が必要です。資格証明書だと病院窓口で、かかった医療費全額の支払いが求められ、事実上市民の医療を受ける権利が侵害されています。国は今回の改正（県単位化）で公費を投入して負担軽減を図ろうとしています。市も公費を投入して負担軽減を図るべきではありませんか。

市長 保険料抑制のための一般会計からの法定外繰り入れは、考えていません。

合併による矛盾を直視し、それを打開する施策について（橋代金）

議員 合併前と合併後で、車の通行台数はどうなっていますか。

市長 年間59万台増えています。

議員 市民を対象にした橋代金補助制度を作る場合、市民の特定が困難と答えていましたが、回数券購入方式なら特定ができるのではありませんか。

市長 高速道路は国が対策を行うもので、ETCマイレージサービスの朝夕割引を利用するよう周知します。

議員 その対象にならない市民はどうしたらいいのですか。



誠友会
ふじもと ともゆき
藤本 友行



未来の「尾道人」に何を残せるのか

議員 町内会活動費補助金、公民館面積、公民館人件費の格差がありすぎだと思いますが、格差の是正をすべきではないですか。

企画財政部長 確かに、数字で示していただくと差があると考えますが、それぞれ地域の特性もあり、今後、実態を調査し適正なあり方を研究してまいります。

町内会活動費補助金 及び 公民館データ

平成29年12月1日

	1世帯当たりの 町内会活動費補助金 (円/世帯)	1人当たりの 公民館面積 (㎡/人)	1人当たりの 公民館人件費 (円/人)
旧尾道市	301円	0.07㎡	15円
因島	721円	0.28㎡	87円
御調	1,547円	0.57㎡	174円
向島	1,208円	0.25㎡	18円
瀬戸田	1,717円	0.31㎡	46円

近隣市との比較

	尾道市	三原市	福山市
1世帯当たりの 町内会活動費補助金 (円/世帯)	約500円	約900円	約600円